

(様式 11-B)

2 論文発表の実績 (平成 18 年度)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
30 Clinical Biochemistry, 39: 1016-1021, 2006.	Plasma granulysin concentrations and preeclampsia risk.	Qui C., Saito S., Sakai M., Ogawa K., Nagata K., Williams M. A.	産科婦人科
31 J Obstet Gynaecol Res, 33: 38-44, 2007	Interleukin-8 and glucose in amniotic fluid, fetal fibronectin in vaginal secretions and preterm labor index based on clinical variables are optimal predictive markers for preterm delivery in patients with intact membranes.	Yoneda S., et al	産科婦人科
32 Int J Oral and Maxillofac. Surg. 36: 15-19, 2007	Predictive assay of neoadjuvant chemotherapy in management of oral cancer.	Tsuji T., Noguchi M., Kido Y., Kubota H., Takemura K., Nakamori K., Hiratsuka H	歯科口腔外科
33 J Neuroimmunol. 170: 141-149, 2006.	Novel autoantibodies to a voltage-gated potassium channel Kv1.4 in a severe form of myasthenia gravis.	Suzuki S., Satoh T., Yasuoka H., Hamaguchi Y., Tanaka K. et al.	神經内科
34 Internal Medicine, 45: 879-880, 2006	Psoriasis Improved by Intravenous Immunoglobulin Therapy.	Taguchi Y., Takashima S., Yoshida S., Dougu N., Inoue H., and Tanaka K	神經内科
35 Therapeutic Research, 27: 1668-1674, 2006	脳保護療法の意義.	田中耕太郎	神經内科
36 Mebio 23: 6-13, 2006	高血圧治療による脳卒中予防のエビデンス	田中耕太郎	神經内科
37 Neuron, 2006;50(2):261-275	SAD:a novel presynaptic kinase associated with synaptic vesicle and the active zone cytomatrix that regulates neurotransmitter release.	Inoue E., Mochida S., Takagi H., Higa S., Deguchi-Tawarada M., Inoue M., Yao I., Takeuchi K., Kitajima I., Setou M., Ohtsuka T., Takai Y	検査部
38 Dev. Cel. 2006;11:21-32	CLASPs attach microtubule plus ends to the cell cortex through a complex with LL5b.	LansbergenG., GrigorievI., OhtsukaT., Higa S., Kitajima I., et al	検査部
39 J. Com. Neurol. 2006;495(4):480-496	The active zone protein CAST is a component of conventional and ribbon synapses in mouse retina.	Deguchi-Tawarada M., Inoue E., takao-Rikitsu E., Inoue M., Kitajima I., Ohtsuka T., Takai Y	検査部
40 Biol. Pharm. Bull. 2006;24(4):634-639	Anti-inflammatory effect of pitavastatin on NF- κ B activation by TNF- α in hepatocellular carcinoma cells.	Wang J., Tokoro T., Higa S., Kitajima I	検査部
41 Oncology Reports. 2006;16(1):153-158	PEA3 cooperates with c-Jun in regulation of HER2/neu transcription.	Matsui K., Sugimori K., Motomura H., Ejiri N., Tsukada K., Kitajima I	検査部
42 J. Nutr. Sci. Vitaminol. 2006;52:261-265	The effects of eicosapentaenoic acid-fortified food on inflammatory markers in healthy subjects. A randomized, placebo-controlled, double-blind study.	Fujioka S., hamazaki K., ItomuraM., Huan M., Nishizawa H., SawazakiS., Kitajima I., Hamazaki T	検査部
43 Hum Pathol. 2007, 38(2):276-83.	Desmoglein 3 as a Prognostic factor in Lung Cancer.	Fukuoka J., Dracheva T., Shih J., Hewitt S., Fujii T., Kishor A., Mann F., Shilo K., Franks TJ., Travis WD., Jen J.	病理部
44 Int J Cancer. 2007, 120(11):2353-8	Inactivation of LLC1 gene in non-small cell lung cancer.	Hong KM., Yang SH., Player A., Fukuoka J., Meerzaman D., Dracheva T., Jen J.	病理部

(様式 11-B)

2 論文発表の実績 (平成 18 年度)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
45 J Clin Oncol. 2006, 24:306-14.	Evaluation of two phosphorylation sites improves the prognostic significance of Akt activation in NSCLC tumors.	Tsurutani J. and Fukuoka J., Tsurutani H., Shih JH., Hewitt SM., Travis WD., Jen J., and Dennis PA.	病理部
46 Mol Cell. 2006, 24:771-783.	SNIP1 is a new candidate modifier of the transcriptional activity of c-Myc on E-box-dependent target genes.	Fujii M., Lyakh LA, Bracken GP, Fukuoka J, Hayakawa M, Tsukiyama T, Soll SJ, Harris M, Rocha S, Roche KC, Tominaga I, Jen J, Perkins ND, Lechleider RJ, Roberts AB.	病理部
47 内科専門医会誌 2006, (18)1, 7-40.	体重減少と腹腔内リンパ節腫脹を来たした一例。	丸山宗治, 安村敏, 鈴木健介, 野畠浩一, 村上純, 篠田晃一郎, 福岡順也, 川野充弘	病理部
48 画像診断 2006, (26)4, 444-458.	Diffuse cystic pattern.	新田哲久, 高橋雅士, 村田喜代史, 福岡順也.	病理部
49 最新医学 2006, (61)11, 2238-2245.	トランスレーショナル研究技法としての組織アレイとそのがん治療への応用.	福岡順也, 坂井祐太, 熊谷直子, 川村しのぶ, 堀隆.	病理部
50 J Biol Chem 2005 Mar;280(10):9375-89	Deletion of the PDGFR- β gene affects key fibroblast functions important for wound healing	Gao Z, Sasaoka T, Fujimori T et al..	病理部
51 J Comp Neurol 2005 Jan;482(1):33-49.	ZFH4 protein is expressed in many neurons of developing rat brain	Nogami S, Ishii Y, Kawaguchi M et al..	病理部

計 51

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 正		
管理担当者氏名	経営企画情報部長 中川 肇 薬剤部長 足立伊左雄 医療サービス課長 日合三雄	放射線部長 瀬戸光 病院管理課長 堀田栄	

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	病院事業部医療サービス課、薬剤部、看護部及び放射線部	カルテ等(電子カルテを含む。)の病歴資料は、1患者1ファイル方式による永久一元番号で分類し、外来カルテは最終受診日から8年以上、入院カルテは退院日から10年以上の保存を原則としている。 また、エックス線写真は、1患者1ファイル方式で、最終使用日から8年間の保存を原則としている。 これらは、コンピュータによる集中管理を行っている。
病院の管理運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	杉谷地区事務部 総括管理課
	高度の医療の提供の実績	病院事業部 医療サービス課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事業部 病院管理課
	高度の医療の研修の実績	病院事業部 病院管理課
	閲覧実績	病院事業部 病院管理課
	照会患者に対する医療提供の実績	病院事業部 医療サービス課
	入院患者数、外来患者数及び調剤の和を明らかにする帳簿	病院事業部 医療サービス課 及び薬剤部

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	病院事業部 病院管理課	\
	専任の院内感染対策を行なう者の配置状況	病院事業部 病院管理課	
	医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	病院事業部 病院管理課	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談 に適切に応じる体制の 確保状況	病院事業部 病院管理課	
	医療に係る安全管理の ための指針の整備状況	病院事業部 病院管理課	
	医療に係る安全管理の ための委員会の開催状 況	病院事業部 病院管理課	
	医療に係る安全管理の ための職員研修の実施 状況	病院事業部 病院管理課	
	医療機関内における事 故報告等の医療に係る 安全の確保を目的とし た改善の方策の状況	病院事業部 病院管理課	

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び照会患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 堀田栄
閲覧担当者氏名	病院管理課管理係長 辻堂清
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延 0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○照会患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	63.5%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算定根拠	A：紹 介 患 者 の 数		6,476人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,211人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,866人
	D：初 心 の 患 者 の 数		15,562人

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)1名・無
② 専任の院内対策を行う者の配置状況	(有)1名・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
・所属職員: 専任(1)名 兼任(13)名	
・活動の主な内容	
1. インシデントの収集・調査・分析、発生原因の究明及び防止対策に関する事項 2. 医療安全管理に係る巡視・点検・評価に関する事項 3. 医療安全管理に係る業務改善の提言・指導に関する事項 4. 医療安全管理に係る教育・研修・啓発に関する事項 5. 医療安全管理マニュアルに関する事項 6. その他の医療の安全管理に関する事項	
④ 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容	
1. 病院における安全管理に関する基本的考え方 2. 安全管理委員会その他の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容:	
1. 医療安全管理方針の策定及び推進に関する事項 2. インシデントの報告に関する事項 3. 医療安全管理の教育及び研修に関する事項 4. 医療安全管理対策の検討及び医療安全管理マニュアル作成に関する事項 5. 医療の質向上への取り組みに関する事項 6. 重大なインシデントに係る調査及び対策に関する事項 7. 医療事故対応の意思決定・報告・広報に関する事項 8. その他医療安全管理に関する事項	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 28 回
・研修の主な内容:	
1. 全職員を対象とした医療安全推進のための講演会及び事例検討会 2. 新人の医師・看護師の研修 3. 昇任看護師長及び副看護師長の研修 4. 帰局医師・復帰看護師・中途採用職員の研修	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)	
・ その他の改善の方策の主な内容:	
<p>発生した事例報告は、各部署のRMに提出され、RMは内容確認と問題の把握・部署としての対策を検討し、医療安全管理室に提出される。GRMは事例を確認し、必要と判断すれば現場のRMに状況聴取、または現場へ確認に行く。その中で、システム改善可能なもの、広く注意喚起が必要なものを選択し、院内各会議で知らせる。また、全体で討議して対策を講じる必要のある問題は、事例検討会に提案し共通対策を立てるようとする。毎月の報告集計は、院内各会議で知らせている。適宜、関連した部署のRMを集め、WGとして活動を行ない問題解決をはかっている。</p> <p>また、毎週1回の医療安全管理室ミーティングにて、3b以上のインシデントについて事例の報告、分析等を行い、毎月1回のRM会議を開催して事例の報告を行い、院内の安全管理に周知を行っている。</p>	